

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	倉敷工業高等学校		所在地	倉敷市老松町4丁目9-1	
敷地面積	45, 005. 15 m ²		棟数	80 棟（計画記載対象 23 棟）	
延床面積	23, 768. 29 m ²			※対象は200㎡以上の建物（車庫、倉庫等）は500㎡以上 ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	高等学校教育のため				
【想定される自然災害】					
予想震度 6弱		津波 ー		浸水 1. 0～2. 0m未満	
建築規制	市街化区域、第二種住居地域 建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 （ 2017 年度）	電気 550,369 kwh	ガス 13,364 m ³	水道 7,874 m ³	燃料（ 灯油） 7,507 ℓ	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 倉敷市指定緊急避難場所・指定避難所（土砂災害、高潮、地震、津波）				

1 施設内建物の概況

名 称	機械科棟(106-1棟)56-1	機械科棟(106-2棟)56-2	電気科(123棟)59
築年(西暦)	1974 年	1981 年	1979 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	1,346.20 m ²	654.00 m ²	762.33 m ²
延床面積	2,375.80 m ²	654.00 m ²	2,287.00 m ²
主要な用途 (室名等)	溶接実習室 原動機実習室 機械加工実習室	パソコン教室 材料試験実習室 工業計測実習室	電気機器実習室 電気工事实習室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適	圧縮強度 ※2 適
	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適	中性化 ※3 適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適	建物傾斜 ※4 適
	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適	地盤沈下 ※5 適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	給排水設備	給排水設備	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	普通教室(136棟)64-1	普通教室(138棟)64-2	昇降口棟(144棟)67
築年(西暦)	1983 年	1984 年	1987 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 2 階
建築面積	221.15 m ²	165.60 m ²	143.40 m ²
延床面積	890.24 m ²	661.70 m ²	273.92 m ²
主要な用途 (室名等)	電子機械科実習室 普通教室	多目的教室 普通教室	昇降口
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 消火設備	消火設備	消防設備(自動火災報知設備)
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	屋根 消防設備(自動火災報知設備)	屋根	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	特別教室棟(145棟)64-3	特別教室棟(146棟)64-4	おいまつ会館(151棟)74-1
築年(西暦)	1987 年	1988 年	1989 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	203.63 m ²	195.66 m ²	475.86 m ²
延床面積	814.50 m ²	586.98 m ²	989.90 m ²
主要な用途 (室名等)	合併教室 物理教室 美術教室	生物・地学教室 化学教室 書道教室	食堂
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 給排水設備 消火設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3	圧縮強度 ※2 中性化 ※3
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	繊維科棟(155棟)73	実習棟(工業化学科)(159棟)79-1	実習棟(工業化学科)(160棟)79-2
築年(西暦)	1992 年	2000 年	2002 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	746.78 m ²	218.15 m ²	182.00 m ²
延床面積	1,825.69 m ²	654.95 m ²	546.30 m ²
主要な用途 (室名等)	織物製造実習室 機械・電気実習室 繊維染色加工実習室	設備管理実習室 単位操作実習室 分析化学実習室	プラント実習室 新素材実習室 バイオ実習室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 地盤沈下 ※5		
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	屋内運動場(78棟)42	柔剣道場(79棟)74-2	普通教室、特別教室(79棟)45-1
築年(西暦)	1962 年	1993 年	1965 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	1,332.78 m ²	378.97 m ²	214.51 m ²
延床面積	1,662.12 m ²	378.97 m ²	643.54 m ²
主要な用途 (室名等)	体育館	柔道場 剣道場	進路指導室 女子更衣室 会議室
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備	-	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2 適		適
	中性化 ※3 適		適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4 適	適	適
	地盤沈下 ※5 適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	精密機械教室(80棟)43-1	精密機械教室(81棟)43-2	精密機械教室(82棟)43-3
築年(西暦)	1964 年	1965 年	1966 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 2 階	鉄筋コンクリート 造 3 階
建築面積	198.41 m ²	200.96 m ²	396.92 m ²
延床面積	396.83 m ²	401.91 m ²	396.92 m ²
主要な用途 (室名等)	FA実習室 放電加工実習室 シーケンス実習室	機械加工実習室 計測実習室 電気実習室	製図室 CAD実習室 電子制御実習室
主要な設備 (屋外を含む)	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性	不適	不適	不適
※耐震診断済のみ	適	適	適
長期使用の 適否	適	適	適
※4 建物傾斜 ※5 地盤沈下	適	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	本館及び教室(85棟)45-2	教室(86棟)47-1	教室(87棟)47-2
築年(西暦)	1969 年	1970 年	1970 年
構 造	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階	鉄筋コンクリート 造 4 階
建築面積	374.90 m ²	131.04 m ²	156.96 m ²
延床面積	1,659.26 m ²	524.16 m ²	627.84 m ²
主要な用途 (室名等)	校長室 事務室 職員室	普通教室 多目的教室	普通教室 多目的教室 選択教室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	-
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	適
	中性化 ※3	適	適
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	クラブ活動用部室(90棟)48-2	寄宿舍(104棟)55-1	
築年(西暦)	1971 年	1974 年	
構 造	鉄筋コンクリート 造 1 階	鉄筋コンクリート 造 3 階	
建築面積	283.38 m ²	437.86 m ²	
延床面積	283.38 m ²	1,094.94 m ²	
主要な用途 (室名等)	部室	寄宿舍	
主要な設備 (屋外を含む)	-	消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備	
利用状況	高	低	
耐震性 ※1	有	有	
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	適	
	中性化 ※3	適	
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	
	地盤沈下 ※5	適	
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	外壁	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強～7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

老朽化の進んだ建物について修繕、改修を行い、使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
機械科棟(106-1棟) 56-1	・長寿命化改修を行う。 ・設備等の定期更新を行う。
機械科棟(106-2棟) 56-2	・長寿命化改修を行う。 ・設備等の定期更新を行う。
電気科(123棟)59	設備等の定期更新を行う。
普通教室(136棟)64-1	設備等の定期更新を行う。更新に当たっては、ユニバーサルデザイン化にも配慮する。
普通教室(138棟)64-2	設備等の定期更新を行う。
昇降口棟(144棟)67	予防保全を図る。
特別教室棟(145棟) 64-3	設備等の定期更新を行う。
特別教室棟(146棟) 64-4	設備等の定期更新を行う。
おいまつ会館(151棟) 74-1	予防保全を図る。
繊維科棟(155棟)73	予防保全を図る。
実習棟(工業化学科) (159棟)79-1	予防保全を図る。
実習棟(工業化学科) (160棟)79-2	予防保全を図る。
屋内運動場(78棟)42	予防保全を図る。
柔剣道場(79棟)74-2	予防保全を図る。
普通教室、特別教室 (79棟)45-1	予防保全を図る。
精密機械教室(80棟) 43-1	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
精密機械教室(81棟) 43-2	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
精密機械教室(82棟) 43-3	予防保全を図る。(予防保全を図りながら使用した後、改築等を検討する。)
本館及び教室(85棟) 45-2	予防保全を図る。
教室(86棟)47-1	長寿命化改修を行う。
教室(87棟)47-2	長寿命化改修を行う。
クラブ活動用部室(90 棟)48-2	予防保全を図る。
寄宿舍(104棟)55-1	予防保全を図る。

(概 要)

- ## 1 設備等更新

劣化状況を確認しながら順次更新を行う。

- ## 2 長寿命化改修

屋上防水等を行うほか、内部・外部の改修を行う。

(106-1棟、106-2棟)2024年度以降設計・施工

(86棟、87棟)2023年度以降設計・施工

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
機械科棟(106-1棟)56-1	長寿命化改修								設計・施工 4		
	設備等の 定期更新								受電 設備		
機械科棟(106-2棟)56-2	長寿命化改修								設計・施工 106-1棟に含		
	設備等の 定期更新								受電 設備 106-1棟に含		
電気科(123棟)59	設備等の 定期更新							屋上 防水			
普通教室(136棟)64-1	設備等の 定期更新		屋上 防水			トイレ 洋式化					
普通教室(138棟)64-2	設備等の 定期更新		屋上防水								
昇降口棟(144棟)67	予防保全		予防保全を図る。								
特別教室棟(145棟)64-3	設備等の 定期更新		屋上防水								
特別教室棟(146棟)64-4	設備等の 定期更新						屋上防水				
おいまつ会館(151棟)74-1	予防保全		予防保全を図る。								
繊維科棟(155棟)73	予防保全		予防保全を図る。								

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
実習棟(工業化学科)(159棟)79-1	予防保全		予防保全を図る。								
実習棟(工業化学科)(160棟)79-2	予防保全		予防保全を図る。								
屋内運動場(78棟)42	予防保全		予防保全を図る。								
柔剣道場(79棟)74-2	予防保全		予防保全を図る。								
普通教室、特別教室(79棟)45-1	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(80棟)43-1	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(81棟)43-2	予防保全		予防保全を図る。								
精密機械教室(82棟)43-3	予防保全		予防保全を図る。								
本館及び教室(85棟)45-2	予防保全		予防保全を図る。								
教室(86棟)47-1	長寿命化改修							設計・施工 2			
教室(87棟)47-2	長寿命化改修							設計・施工 86棟に含			
クラブ活動用部室(90棟)48-2	予防保全		予防保全を図る。								
寄宿舍(104棟)55-1	予防保全		予防保全を図る。								

4. 概算費用

総額 7億円(長寿命化改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.11	普通教室(136棟)において、設備等の定期更新を追加
R4.3	特別教室棟(146棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを変更
R5.3	電気科(123棟)において、設備等の定期更新のスケジュールを追加
R6.3	機械科棟(106-1,106-2棟)において、長寿命化改修のスケジュールを変更
R7.3	機械科棟(106-1,106-2棟)において、設備等の定期更新を追加